



2022年11月14日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社  
 本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号  
 代 表 者 名 代表取締役社長 光本 明  
 (コード 7957 東証スタンダード)  
 問 合 せ 先 専務取締役 上田 正隆  
 電 話 番 号 06-6471-7071

## 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想および配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 通期連結業績予想の修正

2022年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	9,100	450	480	340	222.11
今 回 発 表 予 想 (B)	9,700	510	650	460	300.50
増 減 額 (B-A)	600	60	170	120	
増 減 率 (%)	6.6	13.3	35.4	35.3	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	8,598	349	425	369	241.46

## 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期の実績と比較して堅調に推移いたしました。具体的には、テープ類の好調な販売が想定以上に継続して推移したこと、また、中期経営計画の柱の一つである新規開発製品が徐々にではありますが、売上および収益面に寄与してきたことに加え、当社子会社も計画以上の業績で推移したことから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が、前回発表した通期連結業績予想を上回るペースで推移しました。

通期の業績予想につきましては、国内において、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和が進み、社会経済活動の更なる回復が見込まれる一方で、例年第4四半期は販売先における在庫調整が見込まれること、また、ウクライナ情勢の影響を受けた原油等資源価格の高止まりによる原材料費やエネルギーコストの一層の高騰が懸念されます。更には、為替も先行き不透明であるなど様々なリスク要因があります。今回、当第3四半期連結累計期間までの業績に、これらの要因を総合的に勘案して、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

## 2 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (2022年2月14日)	—	70.00	70.00
今 回 予 想	—	91.00	91.00
当 期 実 績	0.00	—	—
前 期 実 績 (2021年12月期)	0.00	65.00	65.00

### 配当予想の修正の理由

当社は、将来の成長に必要なキャッシュフローや内部留保等を勘案しつつ、経営成績に応じ、連結配当性向30%以上を目安に安定した配当を実施することを基本方針としております。

上記の基本方針および今回の2022年12月期の業績予想の修正を踏まえ、2022年12月期における期末配当予想を1株当たり70円から91円に修正いたします。

修正予想を踏まえた年間配当金の連結配当性向は30.3%となる見通しです。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上